

2

位置図と対応させるための番号を附番

納屋

納屋など、外部からは様子がわから
ない施設等が位置する場合は、その
内部写真も別に添付してください。

ブロック塀

住宅

申出地の範囲がわかる
ように、写真も赤線囲

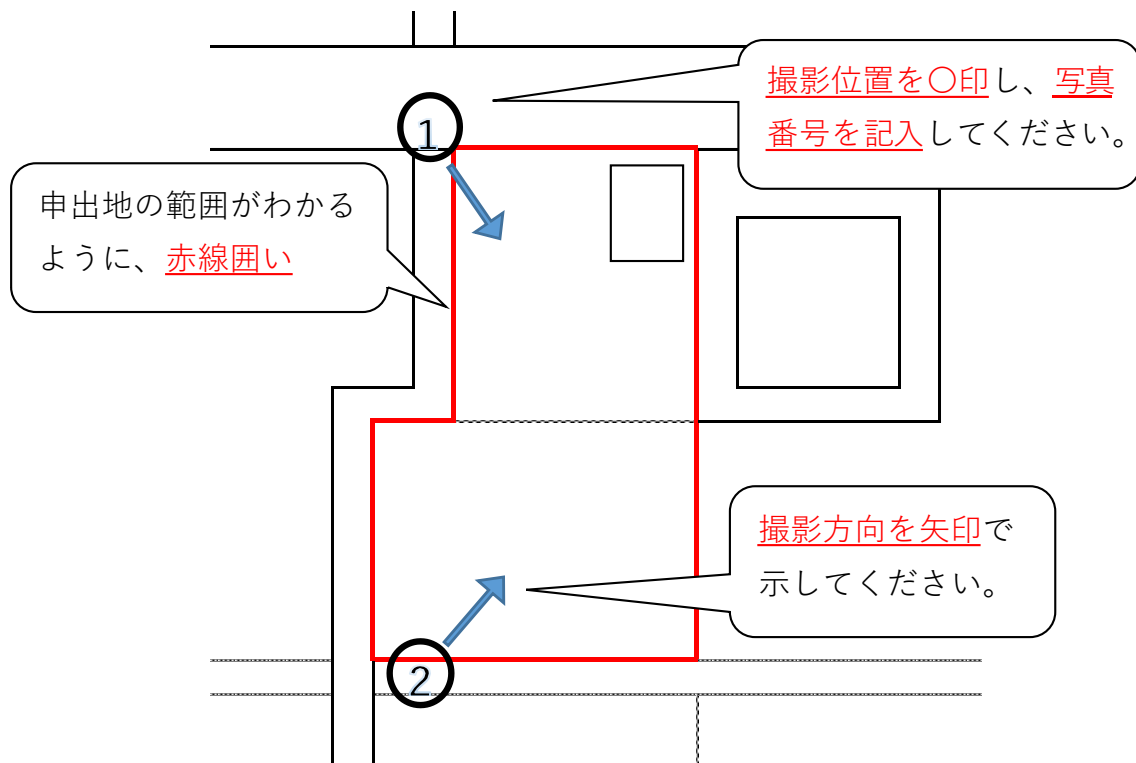
1枚の写真に端から端まで
映っている必要はありません。
複数に分かれて大丈夫です。

撮影日記入 ※裏面可

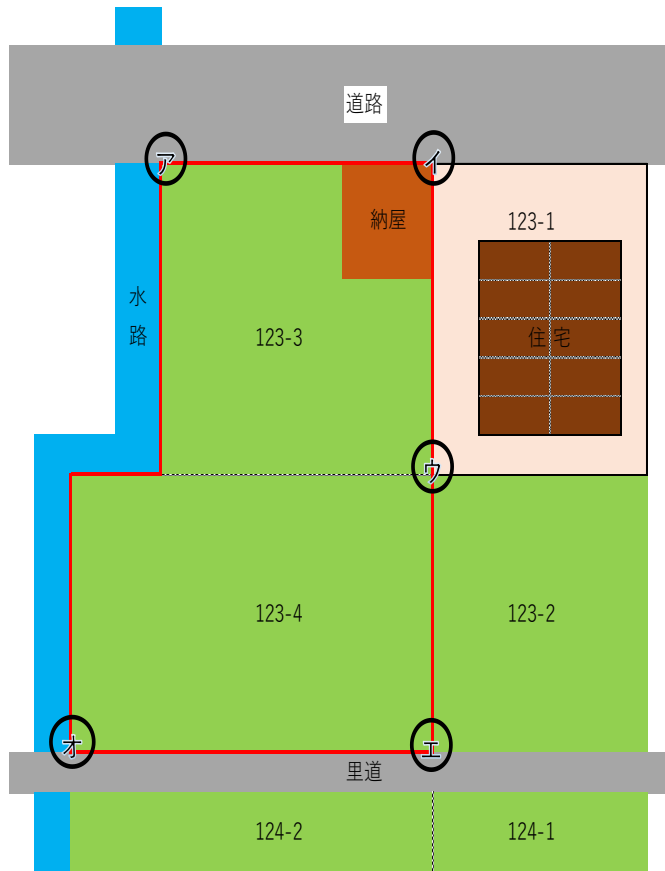
令和6年6月●日 撮影

位
置
図

住宅地図や、印刷した地図等でも可。
適当な地図等がない場合、市役所内情報公開コーナーで地形図をコピーいただけます



区域界説明図



一筆ずつ作成してください。

ただし、連坦（直接隣接）している農地等については、1つの区域として作成いただけます。

- ①区域界を赤線で囲んだうえ、
- ②左上（北西）あたりを始点に、隣接する区域の説明もしくは構造物の有無が異なる毎に各測点とします。
- ③各測点は時計回り・五十音順に配してください。
- ④測点間ごとの説明を下記表のように記載してください。

測点	区域界説明	構造物の有無
ア－イ	道路界	
イ－ウ	筆界	ブロック塀あり
ウ－エ	筆界	
エ－オ	里道界	
オ－ア	水路界	フェンスあり